

# 果無山脈 & 玉置山 (ハイライトシーン) [実施日--2023年3月21日]



(メンバー) ---計9名 (弥生班)---木村、楠部、中濱、山本、河原、岡本、八木、上畑、有本

① (7:30 昴の郷で準備)



② (柳本橋の吊り橋)



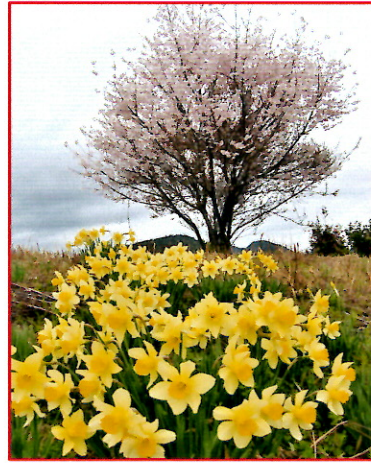
③ (見晴らし台)



⑤ (天空の郷)



⑥ (天空の郷の花々)



④ (果無集落)



⑧ (玉置神社の大鳥居)



⑦ (世界遺産の記念碑---熊野古道小辺路)



⑨ (玉置山の山頂)



# 果無山脈 & 玉置山

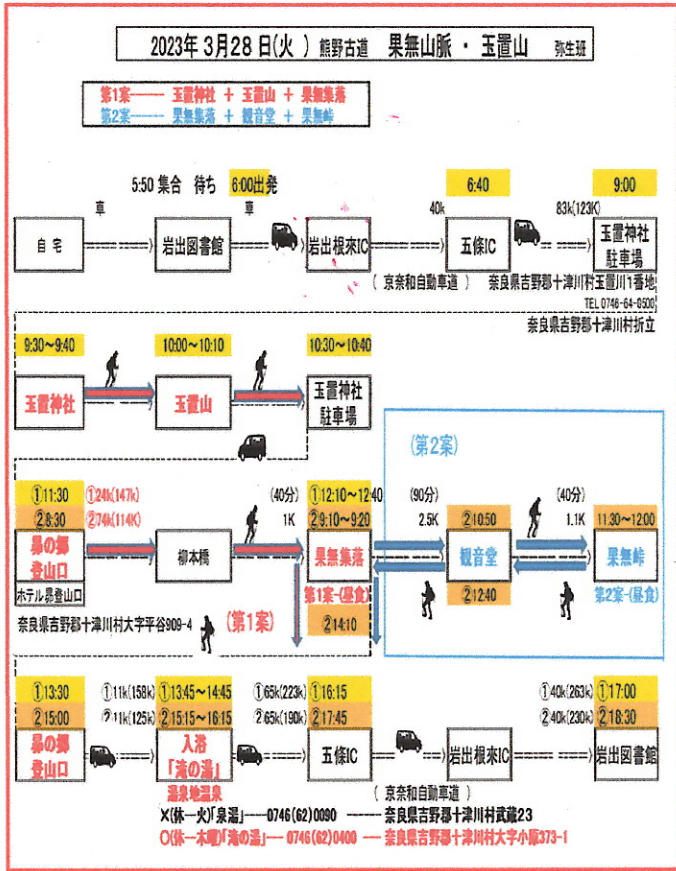
# 紀峰山の会 (弥生班)

※(山行日) …… 2023年3月21日

※(行程) [予定]

(メンバー) ……………計 9名

木村、楠部、中濱、山本、河原、  
岡本、八木、上畑、有本



※(行程) [結果]

(往路---車移動)

- 岩出図書館 (出発) 5:00
- 昂の郷 駐車場 (到着) 7:20

(山行)

- ① 昂の郷 …………… 7:40
- ② 柳本橋 …………… 7:50
- ③ 果無集落 …………… 8:15
- ④ 柳本橋 …………… 8:50
- ⑤ 昂の郷 …………… 9:00

(車移動)

- 玉置神社 駐車場 …………… 10:45

(山行)

- ⑥ 玉置神社 …………… 11:15
- ⑦ 玉置山 昼食 …………… 11:45
- ⑧ 玉置神社 駐車場 …………… 12:30

(車移動)

- 湯泉地温泉 入浴 …………… 13:30

(帰路---車移動)

- 湯泉地温泉 (出発) 15:00
- 岩出図書館 (到着) 17:30

(果無山脈・玉置山のロードマップ)



※[はじめに]

(玉置山)

・玉置山は、奈良県吉野郡十津川村にある山。大峰山系の最南端で標高 1,076.4 メートル、主に石英斑岩で形成され、山頂直下の九合目には玉置神社がある。

(果無山脈)

・果無山脈は、紀伊半島の中央部に位置する和歌山県と奈良県の県境沿いに位置する山脈。  
・果無山脈の山々は、最高地点でも 1000m をわずかに超える程度であるが、果無という名が生じたのは、行けども行けども果てなく山道が続く様子からであると言われている。  
・果無集落は、世界遺産に登録された熊野参詣道「小辺路」沿いにある小さな集落で、果無山脈を見渡せる高地のため「天空の郷」と呼ばれ、にほんの里 100 選にも選ばれています。

(写真1) (7:30 昴の郷)



- ・岩出図書館5時出発。  
当初は最初に玉置山登頂の予定であったが、  
天気を考慮し、先に果無集落へと変更した。  
昴の郷に到着後、準備体操を実施。

(写真4) (柳本橋——その2)



- ・吊り橋は、思いのほか大きく揺れました。

(写真2) (ミーティングの実施)



- ・本日のリーダーからルートや安全事項の  
説明を実施。

(写真5) (一致団結し安全登山)



- ・弥生班の看板〇〇〇〇？。

(写真3) (柳本橋——その1)



- ・登山口である柳本橋で本日最初の記念撮影。

(写真6) (見晴らし台)



- ・水分補給と熊野の景色を楽しむ。  
十津川は緑色でした。

(写真7) (果無集落)



・世界遺産「熊野古道小辺路」が民家の庭先を通り、その先には視界が広がってきました。

(写真10) (果無集落の花)  
(赤いシデコブシ)

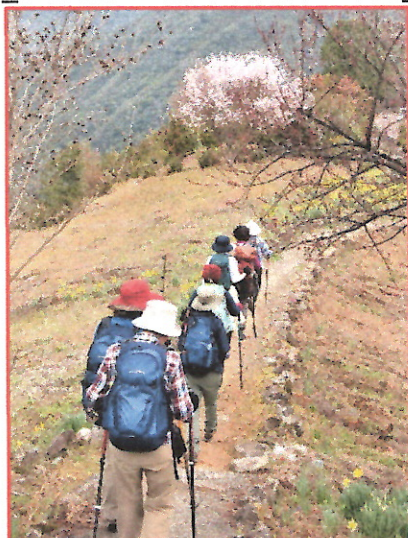


(白いシデコブシ)



(サンシュユ)

(写真8) (世界遺産「熊野古道小辺路」)



・「天空の郷」に到着。



(スイセンと桜)

(写真9) (世界遺産の記念碑)



・世界遺産「熊野古道・小辺路」  
2004年7月「紀伊山地の霊場と参詣道」としてユネスコの世界遺産に登録されました。



(写真 11) (玉置神社の大鳥居)



・果無集落を下山後、車で玉置神社へ移動。当日は祝日で初午の日にあたり、参拝者が多く駐車場は満車状態であった。

(写真 12) (玉置神社の大杉)



・樹齢約 1000 年 樹高 40m 幹周り 8.7m  
この他にも広い境内には、磐余杉、浦杉、夫婦杉、常立杉といった杉の巨木が立ち並んでいます。

(写真 13) (玉置山 山頂)



・眺めがよくパワースポット。

(写真 14) (ランチタイム)



・玉置山山頂でランチ。

(写真 15) (シャクナゲのトンネル)



・まだ咲いていないが、大きなツボミがついていました。

※(最後に)

- ・今回は9名の参加者で2台の車で実施。
- ・今回から八木さん(3月入会)が参加しました。意欲満々で今後も楽しみなメンバーです。
- ・トラブルはないが、当日は祝日で初午の日にあたり、予想外に玉置神社への参拝者が多く、駐車場の確保に苦労した。
- ・果無集落では、地元人との会話や色々な花の観賞と天空の郷の閑静な風景に癒やされ、玉置山ではパワースポットに満喫しました。

※(余談)

- ・果無集落の地元民との会話で、飼っている「鯉」が横になり最後は床ずれで死んだとの話を聞いた。そこでメンバーの誰かが「鯉の床ずれ」で聞いたことないが、「恋の病」になりたいもんだと一言？ 年甲斐もなく……